



キャンペーンで打ち水をする子どもたち

脱温暖化ネットおんどは、平成十七年二月に公衛協が中心となり、自治会、女性

手づくり散水車で打ち水を呼びかけ 『マイ箸持参』などメニューも充実

「夏の打ち水・冬の湯たんぼ」という二つのテーマに絞り、啓発活動や一斉事業を行っている。三年目になる今年の夏も、七・八・九月の三カ月間、第二日曜日を「一斉打ち水の日」としてキャンペーンを実施する。午後五時を目処に自宅周辺などに水をまき、冷房器具の電源を切って地域ぐるみで温暖化防止に挑戦する。

加を呼びかけようと、軽トラックに貯水槽を積んだ散水車「瀬戸の夕凧号」を手づくりした。七月十三日に実施した一回目のキャンペーンで、住宅地を巡回し、雨水などを撒き、啓発して回



会、漁協などの連携により発足した。廃棄力キ筏の竹を回収し、竹炭を作って販売などを行っている。昨年から、推進員の企画でスタートした「おんどOH! 箸」という音戸大橋に掛けたネーミングで、マイ箸持参事業も実施。音戸らしさを考え、地域の特色を活かした活動メニューが増えている。



散水車「瀬戸の夕凧号」

今後、打ち水の効果による冷房器具の使用時間の削減について、住民にアンケートをとり、成果を数字で把握する予定だ。(脱温暖化センターひろしま)

た。子どもたちも打ち水に参加し、打ち水によって起きる涼風を肌で感じた。会長の島本博基さんは「推進員の仲間が増えていくことが、活動の大きな活力になっている。これからさまざまな団体を巻き込んでいきたい。打ち水も、毎日でも取り組んでもらえるようPRしていきたい」と今後の意気込みを語った。

世羅町で16番目の地域協議会が発足

七月十七日、世羅町に県内第十六番目となる地球温暖化対策地域協議会「脱温暖化プロジェクトせら」が誕生した。プロジェクトせらは、地域ぐるみで脱温暖化のまちづくりをめざして、公衛協や森林組合、商工会や地元の



7月17日に開催された設立総会

協議。プラス実践活動を重視 町との協働で計画づくりに参画

七月十七日、世羅町に県内第十六番目となる地球温暖化対策地域協議会「脱温暖化プロジェクトせら」が誕生した。プロジェクトせらは、地域ぐるみで脱温暖化のまちづくりをめざして、公衛協や森林組合、商工会や地元の高等学校などが構成員となつて組織された。主な活動は、現在世羅町と当会地域活動支援センターが協働で策定している「世羅町地球温暖化対策地域推進計画(仮称)」の検討のほか、計画に描かれる重点プロジェクトなどの実践である。この会の名称は、協議するだけの組織ではなく、実践活動を重視したいとの思いから名付けられた。この度の設立には、この町の担当者に加えて

「地域協議会設立発起人会」を立ち上げた。そして、三回の会合で役割や構成員などのあり方を会則にまとめ、設立総会に至った。この日、発起人の一人である協議会の初代会長に就任した落合脩さんは、「世羅町らしさを出した取り組みを展開していきたい」と抱負を述べた。また、町も積極的に協働することを示しており、来賓として出席した山口寛昭町長は、「脱温暖化を町民共通の認識にしたい」と意気込みを語った。猛暑が続くこの夏、世羅町で町民が一体となった熱い活動が展開されることを期待したい。(地域活動支援センター 山下 祐治)

地球温暖化防止活動推進員を対象にしたステップアップ研修の一環である「仲間づくり研修」が、当センターの主催により7月5日・6日の二日間、もみぎ森林公園(廿日市市)で開催された。研修の対象者は、TEAM(地域協議会)に所属する推進員あるいはTEAMの立ち上げをめざす推進員のグループで、県内の推進員37人が参加した。研修では、主に地域の脱温暖化実践活動の企画づくりを行い、出来上がった企画は、昨年に引き続き、当センターで実施する「ひろしまわが町の温暖化対策エコレシポーション」に出品する予定。企画は、地域のシンボリックな一品を活かした温暖化対策事業とし、11月下旬に開催予定の「オーディション」に向けて、グループごとに企画の実践・効果検証を行うことで、より温暖化対策の実効性の高い事業(エコレシポ)へと仕上げられていく。

地域の一品を活かした対策を企画

脱温暖化推進員仲間づくり研修を開催



エコレシポーションに出品する企画をつくる参加者

研修に参加した「ひがしひろしま環境家族」は、大学生や留学生、企業の赴任者など、東広島市で新たに生活を始める「フレッシュマン」が多いことから、これらの人々を対象にした「フレッシュマンのたのめエコ生活応援出前講座」を企画。温暖化の学習をはじめ、ごみの出し方講座や子ども・家族向けの学習、留学生への日本文化再発掘講座などユニークなメニューがそろっている。その他、因島の推進員グループは、島のかつての特産品である「除虫菊」に着目、蚊取り線香を作り、自然の風と香りでエコの夏を推進する事業を企画するなど、いずれも今後の展開が楽しみである。これらの事業の展開を通じて、温暖化対策のためのリーダーである推進員や地域の核であるTEAMを中心に、さらに当センターも関わりながら、各地域での脱温暖化の取り組みを広く県内へと広めていきたい。(脱温暖化センターひろしま)

平成20年度 公衛協専門研修(企画づくりコース) 受講者募集!

公衛協の活動に『企画』は不可欠です。企画づくりコースでは、あなたのまちづくりに対する思いや願いを具現化するため、活動メニューの考え方や企画に必要な技法の基礎などを学んでもらい、企画力を養います。「問題点はわかっているけど解決する方法がわからない」「最近活動がマンネリ化してきた」などとお考えの方は、ぜひご受講下さい。
*詳細については、お問い合わせ下さい。

対象者：公衛協推進委員、事務局又は公衛協関係者
形態：1泊2日(1日のみの参加は不可)
定員：各会場10人
参加費：無料(会場までの交通費は自己負担)
日時/会場：次のとおり
平成20年8月20日(水)~21日(木) 庄原会場/高原の家七塚
平成20年9月17日(水)~18日(木) 広島会場①/広島市三滝少年自然の家
平成20年10月15日(水)~16日(木) 福山会場/県立福山少年自然の家
平成20年11月19日(水)~20日(木) 広島会場②/広島市三滝少年自然の家

